

1. 科目名 (単位数)	特別活動の指導法 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE2307 SJTC2412 SJTC3412
2. 授業担当教員	磯辺 武雄		
4. 授業形態	◇講義、演習、模擬実習、グループワーク、ディスカッションなど 例：導入：講義によって課題の把握→展開（演習）：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議→まとめ：協議内容を含め講義のまとめ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	<p>◇ 特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめ問題などに対する予防的な役割を果たすなど、児童の成長に欠かせない教育活動である。そこで、特別活動の意義や目標を確認し、その背景となる理論を理解するとともに、実践的な指導の在り方を身につけさせる。</p> <p>◇ 特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認をしながら、学級活動を中心とした授業力等の理解と習得を図る。</p> <p>◇ 演習内容は、小学校における「学級活動」を中心にその授業力・指導力を育成するものとする。学級活動を中心に演習を展開する理由は、学級活動が特別活動の中核であり、集団成員としての望ましい資質や能力・態度を育て、人間としての生き方に関する指導を行う中心的な場であるとともに、生徒指導の全機能が補充・深化・統合される場として重要であるからである。また、教科書もなく学級担任としての力量が学級担任になると即刻問われるからである。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 特別活動の目標や内容、特質と教育課程における位置づけについて理解し、教育課程全体を意識して計画や指導を行うことができるようになる。</p> <p>2. 特別活動における評価・改善活動の重要性を理解し、適切な評価・改善活動を実践できるようになる。</p> <p>3. 小学校における特別活動の中核となる「学級活動」について、その特質を理解した上で、計画委員会が主体となって授業を展開する指導案(展開案)を作成し、合意形成に向けた話し合い活動を指導できるようになる。</p> <p>4. 特別活動における家庭、地域等との連携のあり方について理解し、指導に活かせるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>・ 次時の学習内容に関する箇所について、『学習指導要領解説 特別活動編』で確認・予習を励行すること。</p> <p>・ グループワーク等においては、必ず各自で関連資料（紙媒体）等を事前準備して授業に参加すること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省(著作権)『小学校学習指導要領解説 特別活動編』(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>[参考書] ・文部科学省(著作権)『中学校学習指導要領解説 特別活動編』(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>・文部科学省(著作権)『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』(平成 30 年 3 月告示)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 特別活動の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。</p> <p>2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>1. 授業への積極性（発言・模擬授業の実施等） 総合点の 20%</p> <p>2. 日常の学習状況（出席・提出物） 総合点の 30%</p> <p>3. 課題レポート（中間・期末） 総合点の 50%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>・ 授業中の私語、飲食及び携帯電話、スマートホンの使用等は遠慮すること。</p> <p>・ 教員志望者としての資質向上に関わる自己目標、自己課題を持ち授業参加すること。</p> <p>・ レポート、アサイメントについては、指定の提出日を厳守すること。</p>		
13. オフィスアワー	・ 初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	・ 特別活動の教育課程内での位置づけと総括目標について理解する。	事前学習	・ 学習指導要領解説 特別活動編を概観し、自分なりに特徴をおさえる。
		事後学習	・ 特別活動の特徴について、事前学習で自分なりにおさえた特徴に追記、修正を行う。
第 2 回	・ 特別活動の全体構成、各内容の概要について理解するとともに、その特質について考える。 ・ 班（グループ）分け	事前学習	・ 学習指導要領解説 特別活動編の内容に関わる箇所を読み、学習指導要領上で示されている内容を理解しておく。
		事後学習	・ 特別活動の特質についてまとめるとともに、各内容をきちんと住み分けられるようにする。
第 3 回	・ 学級活動～学級活動の目標・内容等を理解する— ・ 学級活動指導案（略案）(1 単位時間の指導計画)作成説明	事前学習	・ 学習指導要領解説 特別活動編の学級活動に関わる箇所を読み、学級活動の課題について自分の意見をまとめる。
		事後学習	・ 学級活動指導案（略案）(1 単位時間の指導計画)の作成について確認・整理する。
第 4 回	・ 学級活動指導案（略案）(1 単位時間の指導計画)の作成①	事前学習	・ 学級活動指導案（略案）の素案を考えてくる。
		事後学習	・ 学級活動指導案（略案）の素案の修正、加筆を行う。
第 5 回	・ 学級活動指導案（略案）(1 単位時間の指導計画)の作成② ・ 学級活動指導案（略案）の成案（完成原稿）提出。	事前学習	・ 学級活動指導案（略案）の成案を考えてくる。
		事後学習	・ グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。
	学級活動指導案（略案）(1 単位時間の指導計画)	事前学習	・ グループ毎に模擬授業の準備と予行演習を

第6回	～模擬授業①～		する。
		事後学習	・模擬授業を受けて、作成した指導計画を修正、補訂する。
第7回	学級活動指導案（略案）〈1単位時間の指導計画〉 ～模擬授業②～	事前学習	・指導計画を見直し、模擬授業ができる準備をしておく。
		事後学習	・模擬授業を受けて、作成した指導計画を修正、補訂するとともに、学級活動についてまとめる。
第8回	・児童会活動の意義と指導計画等について考える。 ～主として児童会活動の活性化について～	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の児童会活動に関わる箇所を読み、児童会活動での課題について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・児童会活動の指導の留意点についてまとめる。
第9回	・クラブ活動の意義と指導計画等について考える。 ～主としてクラブ活動の設置、運営上の課題について～	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編のクラブ活動に関わる箇所を読み、クラブ活動での課題について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・クラブ活動における指導の留意点についてまとめる。
第10回	学校行事の指導—文化的行事と健康安全・体育的行事について考える— ～主として運動会の種目、学校給食の課題について～	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の文化的行事、健康安全・体育的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・文化的行事、健康安全・体育的行事の指導の留意点についてまとめる。
第11回	学校行事の指導—儀式的行事について考える— ～主として国旗・国歌の取扱いについて～	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の儀式的行事に関わる箇所を読み、指導の留意点について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・儀式的行事の課題点や指導の留意点についてまとめる。
第12回	・進路指導、キャリア教育の意義や指導の留意点について考える。 ～主として職業観・勤労観を中心として～	事前学習	・「働く」ということの意義について考えてみる。
		事後学習	・職業観・勤労観について整理する。
第13回	特別活動における評価と地域連携 ～特別活動における評価の意義や在り方について～	事前学習	・学習指導要領解説 特別活動編の評価に関わる箇所を読み、特別活動における評価のあり方について自分の意見をまとめてくる。
		事後学習	・評価の意義についてまとめるとともに、家庭及び地域との連携での展望を考える。
第14回	特別活動の指導計画づくり ～特別活動の指導計画を作成することで、特別活動全体への理解を深める～	事前学習	・今までの授業を振り返り、特別活動の全体指導計画の構想を考えてくる。
		事後学習	・特別活動の全体指導計画を修正し、完成させる。
第15回	特別活動についてのまとめ ～特別活動の教育的意義と諸活動の目標、内容を理解するとともに、課題や展望について考える～	事前学習	・今までの学習を振り返り、特別活動の特徴やポイントについて発表ができるようにしておく。
		事後学習	・特別活動の特徴やポイントについて、理解しやすいように簡潔にまとめるとともに、自身が教員になってからの展望について考える。

期末試験